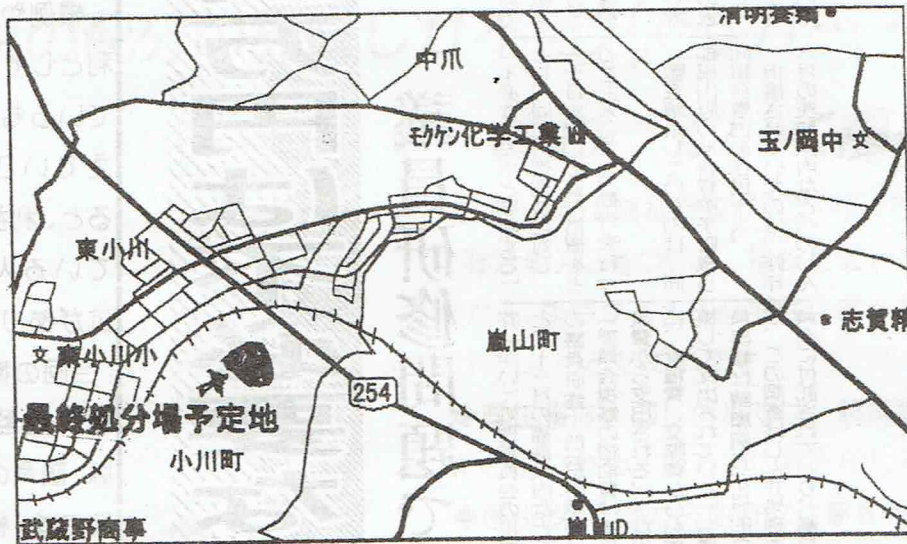


民間業者が廃棄物・焼却灰の最終処分場を

254バイパス沿いの沢、嵐山町と小川町の境に



この最終処分場の建設に反対していきます。

最終処分場（管理型の処分場）の概要

事業者 南房総リゾート開発株式会社

場所 小川町中爪内洞1418-2他（山林、休耕田）

8.27畝のうち、3.43畝を使って、8年間で、
32万 m^2 を埋め立てる。

埋め立てる物 市町村の焼却灰、焼却残さ、

- 官理型処分場とは、山間部の谷間にゴムシートを張って、その上に焼却灰1m位、土1m位の高さに、サンドイッチ状に交互に埋め立てていきます。埋め立てた物から、しみだしてくる水は、処理して水路に放流することになっています。
- 東京都日の出町谷戸沢処分場と同じ型です。ゴムシートは穴だらけで、排水が地下水脈にしみこんで土壌、地下水を汚染します。
- 南房総リゾート開発株式会社は、バブル期に、小川町に16畝、嵐山町に13畝の土地を買い占めました。現在は、小川町、嵐山町の税金を滞納しています。この土地には、日本信託銀行、あさひ銀行の根抵当権や根質権が設定されています。最終処分場の計画は、不良債権となっている所有地を活用する方法です。
- この地に最終処分場の建設許可がありと、嵐山町の沢にも最終処分場が次々につくられていくことになりかねません。